

家族みんなで賢い消費者に  
消費生活と環境展を開催



2月16日にいきいきふれあいセンターで開催された消費生活と環境展。15回目を迎えた今回は34団体が参加しました。また、初めての試みとして、らくりん座による消費者啓発劇「宇宙大王のせつない大冒険～悪質商法にご用心～」を上演。劇を通して、子どもからお年寄りまで悪質商法の危険性を分かりやすく学ぶことができました。

心構えが大切！

「ちょい耳！特殊詐欺に注意！」



市では、定期的に公民館の高齢者学級を訪問し、特殊詐欺の手口や対処法をチラシや啓発品を使って紹介しています。

65歳以上対象  
特殊詐欺撃退機器を  
利用してみませんか？



この録音機を電話に設置すると、着信時に「この電話は、振り込め詐欺などの犯罪被害防止のため、会話内容が自動録音されます」と発信者にアナウンスがあります。

▶申し込み・問い合わせ  
生活課 ☎0287(62)7126



機能がなくても留守電で受ける習慣をつけるのも効果的です。  
また、メールによる架空請求や突然送り付けられる前兆はがきなどは、心当たりがなければ絶対に無視してください。「●月●日までに連絡がない場合は自宅を訪問する」という脅し文句に不安を感じるかもしれませんが、身に覚えがなければ連絡を取らないでください。  
もしも「詐欺かもしれない」と思ったら、自分一人で判断せず、まずは信頼できる人に相談することが大事。それでも怪しいと感じたら、迷わず110番に通報してください。

※「裁判の通知」「未納料金」「連絡要求」などが書かれた郵便はがきを指す。特定の地域に同時に大量送付される。

# あなたを狙う 特殊詐欺

ひとごと  
～他人事と思わずに対策を～

年々手口が巧妙化している特殊詐欺。本市も例外ではなく、高齢者を中心に被害が多発しています。そこで、那須塩原警察署で特殊詐欺の対策にあたる生活安全課の近藤課長に、管内の被害発生状況や被害に遭わないために気を付けるべきことなどを伺いました。



那須塩原警察署 生活安全課 近藤 元司 課長

那須塩原警察署管内では、今年に入り、既に3件の特殊詐欺が発生（令和2年1月27日時点）。昨年に比べ非常にペースが早く危機感を抱いています。昨年特殊詐欺に関する相談を80件ほど受けました。

被害者の傾向として特殊詐欺に狙われやすいのは高齢者。犯人からの最初の接触の8割が自宅固定電話というデータがあり、日中家にいる高齢者が狙われてしまうんです。また、オレオレ詐欺は子や孫が困っているときに「何とかしてあげたい」と思う親心や優しさに付け込んでいるのも、高齢者が被害に遭いやすい要因の一つ。一方、メールを使った架空請求などは、パソコンやスマートフォンに馴染みのある若年層に被害が多い傾向があります。  
特殊詐欺対策として効果的なのは、固定電話に撃退機器を付けるか、この機能が付いた電話を購入すること。犯人は録音を嫌うので音声ガイドが始まると電話を切ります。録音

## CASE 3 還付金詐欺

市役所や税務署、年金事務所などの職員を装い、「医療費の過払い金があり、還付金を返します」などと電話をかけてきます。その際に「還付手続き期限は今日までなので急いで手続きしてほしい」などとATMへ誘導し、犯人の口座にお金を振り込ませる手口です。



**対策**  
公的機関が還付金をATMで返還することはないので、絶対に行かない

## CASE 2 架空料金請求詐欺

身に覚えがないのに、電話・手紙・メールなどで「未払いがある」「すぐに払え」と請求書を送りつけて、高額料金を請求してきます。



**対策**  
①すぐにお金を振り込まない  
②すぐに返信や連絡をしない  
③慌てずに消費生活センターや警察に相談する

## CASE 1 オレオレ詐欺

息子や孫、警察官などをかたって「今すぐお金を振り込んで」と言ってくる、電話を使った詐欺の代表格です。手口は年々巧妙化し、郵便や直接受け取りに来る「振り込ませない」タイプの詐欺が急増しています。



**対策**  
①常に留守番電話にする  
②怪しい電話はすぐに切る  
③直接家族に確認の電話をする  
④すぐにお金を振り込まない  
⑤他人にお金を預けない